

広報 きたもと

きっと、もっと、きたも트가好きになる 旬な話題をお届け!

11月
2017 No.957

特集面

特集

平成28年度北本市決算報告

子どもたちの未来へ、
北本市の未来へ!

財政状況
伝える3

財政を考えると、それは子どもたちの未来を考えると!! の巻



財政を考えると、それは子どもたちの未来を考えると!! の巻



アンケートに至るまでの経緯はフィクションですが、アンケートは実際に児童館にいらした保護者の皆さん(50人)に実施し、結果も実際のものです。

児童館来館者が 特に気になるあのお金

児童館運営と0歳児おむつ無料化のお金はいくらなの？

- 児童館年間運営費 **4,680万円**(指定管理料) 市民1人あたり 695円
(開館日数: 361日 利用のべ人数: 95,913人)
- 0歳児おむつ無料化事業 **1,808万円** 市民1人あたり 268円
(引き換え枚数: 13,752枚)

☎ 子育て支援担当 594-5537

**北本市の市民税が
高いという噂は本当なの？**

市民税(個人)は地方税法で原則全国一律と決められており、**北本市が高いということはありません。**
市民税(個人)の減税を行っているごく一部の自治体(平成29年度は名古屋市のみ)は安くなっています。

ごみの処分にかかるお金はいくらなの？

- ごみの処分(塵芥処理事務経費) **8億8,098万円** 市民1人あたり 13,075円

☎ 環境課廃棄物・リサイクル担当 594-5553

決算情報の詳細は、平成28年度行政報告書をご覧ください。
市ホームページまたは市政情報コーナーでご覧いただけます。

児童館の来館者は子育てや生活にかかわることに興味があるのね。

「財政なんて…」と難しく考えずにね。

皆さん身近なところから興味をもっていたらいいですね。

児童館の来館者は子育てや生活にかかわることに興味があるのね。

「財政なんて…」と難しく考えずにね。

皆さん身近なところから興味をもっていたらいいですね。

あ、強引に進めた。

それでは第3位!

進め、強引に進めた。

進め、強引に進めた。

進め、強引に進めた。

進め、強引に進めた。

よく分かってますね
さすが桜子さん!
これのことでしょう!

1位からいくの?
普通は下から
いくんじゃないの?

それでは1位から見ていきましょう!

市のお金の使いかたの
たいことランキング

何にお金が使われているの?

1位は「何にお金が使われているか?」でした。

市民がいちばん気になっていいることから答えたいですよ!

お金の使い道? ねえ、伝えるマン! もしかして「アレ」が見られる!?

一般会計 歳出

195億2,522万円

消防費	9億7,722万円 5.0%	その他	5億9,495万円 3.1%
土木費	14億7,101万円 7.5%	民生費	82億9,868万円 42.5%
衛生費	15億328万円 7.7%	総務費	26億4,595万円 13.5%
教育費	19億5,308万円 10.0%	公債費	20億8,104万円 10.7%

用語解説

- 民生費** 障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援などに使われた経費。
- 総務費** 情報システム、徴税、選挙、財務事務などの経費。
- 公債費** 建設事業等を行うために借り入れたお金などを返済する経費。
- 教育費** 学校教育や生涯学習の充実、スポーツ等の振興のための経費。
- 衛生費** 健康で衛生的な生活を送るため保健・環境などに使われた経費。
- 土木費** 道路、橋、河川、公園の整備、維持管理などまちづくりのための経費。
- 消防費** 市民の安全を守る消防・防災活動のための経費。

市民一人あたりに換算すると

民生費	12万3,161円	公債費	3万885円	衛生費	2万2,310円	消防費	1万4,503円
総務費	3万9,269円	教育費	2万8,986円	土木費	2万1,831円	その他	8,830円
						合計	28万9,773円

市民税(個人)を市民一人あたりに換算すると56,377円。
市民税を大きく上回る支出は国からの補助金の活用等でまかなわれています。

1年間で市に入ったお金(歳入) 203億5,282万円 - 1年間で市が使ったお金(歳出) 195億2,522万円 = 歳入歳出差引額(形式収支) 8億2,759万円

歳入歳出差引額(形式収支) 8億2,759万円 - 翌年度繰越財源 8,948万円 - 前年度実質収支 8億7,745万円 + 基金積立 4億5,004万円 - 基金取崩し 8億9,670万円 = **実質単年度収支 -5億8,600万円**

※市民一人あたりの計算は、平成29年3月31日時点の人口67,381人で行っています。
※端数処理のため、合計が合わないことがあります。

ちやっかり
告知を挟んできたわね。

出前講座

伝えるマンが行く! 財政状況伝える講座

市民の皆さんに直接財政状況を伝え、ご意見をいただく講座を設けています。申込みできる人は市内に在住、在勤、在学の人で構成された5人以上の団体・グループです。興味のある人は市ホームページをご覧ください。

問 財政課財政担当 (☎594-5503)

市ではこういった取り組みもしています。5人お友達を集めてぜひ、ご活用ください!

ちやっかりって何ですかー。
自然な流れじゃないですかー。

さあ、次次!
どんどんいきましょー!

それでは第2位!

…なんか負けた感じがする。

何が流れよ。普段から流れも空気も読まないあなたが!

いや、こちらにも流れてるのがありまして。

いよいよじゃないわよ。あなたが勝手に順番変えただけですよ。

それではいよいよ第2位! いよいよですね。

「今後どうなっていくの?」
なんか、核心に迫ったような、でも、漠然とした問いね。

1位 何にお金が使われているの?

2位 今後どうなっていくの?

3位 他の市と比べてどうなの?

「現在の北本市の財政状況」と聞いて、どう感じますか?

良い 6%
少し良い 2%
普通 58%
少し厳しい 20%
厳しい 14%

ちなみに、児童館来館者の市の財政状況へのイメージはこちらです。

第1位 何にお金が使われているの?

第2位

第3位 他の市と比べてどうなの?

ペラッ

回答者:50人

同規模の市と比較してみました

平成27年度財政状況資料集より

● 北本市 ◆ 類似団体内平均 (H27まで) ▮ 類似団体内の最大・最小値 (H27)

※類似団体…県内は、桶川市、東松山市、志木市、和光市、鶴ヶ島市等

実質公債費比率の比較

市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合

年度	北本市	類似団体内平均	類似団体内の最大	類似団体内の最小
H24	7.1	10.3	10.3	7.1
H25	4.9	9.6	9.6	4.9
H26	3.9	8.8	8.8	3.9
H27	3.5	7.0	19.2	-2.3
H28	4.6	-	-	-

将来負担比率の比較

市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合

年度	北本市	類似団体内平均	類似団体内の最大	類似団体内の最小
H24	22.2	58.2	58.2	22.2
H25	33.3	50.3	50.3	33.3
H26	45.9	52.5	52.5	45.9
H27	33.6	42.4	189.8	0.0
H28	42.5	-	-	-

ほか、健全化判断比率指標

- 実質赤字比率 (一般会計を中心とした赤字の割合) … 赤字なし
- 連結実質赤字比率 (一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合) … 赤字なし

来館者のイメージでも「普通」が多いけど、今のところ類似団体とあまり変わらないのね。

そう。今はまだ、他の市と比べて、ひどいとはいえませんが、ただ、それは他の市も同様に厳しいだけです。このままいくと北本市も、素晴らしい未来を残せないかも!

市民の皆さんに伝わるといいね。

もっと頑張れ伝えるマン!

だから、北本市は対策を早期に行っていくために、皆さんに財政状況を正しく伝える努力を行っています!

ありがとうございます!!

シヤキーン!!



老朽化に伴う新たなゴミ処理施設の建設



稼働開始から32年が経過

昭和59年より、埼玉中部環境センター(吉見町内)でゴミ処理を行ってきましたが、稼働開始から32年が経過しており、安定したゴミ処理サービス維持のため、新たなゴミ処理施設が必要となっています。

新施設の費用は

現在鴻巣市・行田市と共同で新たなゴミ処理施設(鴻巣市内)の建設を計画し、平成35年度中の稼働を予定しています。施設整備費用は3市で約248億円(国の交付金等含む)と試算されています(平成29年9月時点)。進捗情報は随時お知らせします。

公共施設の老朽化対策



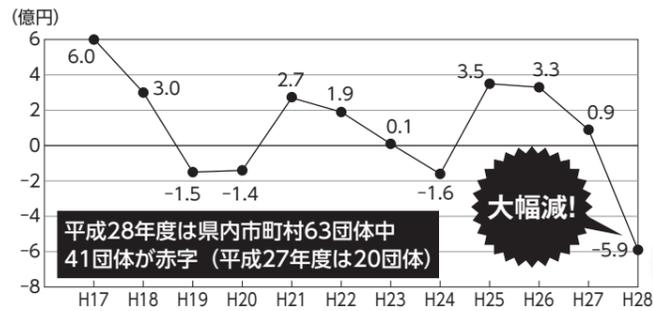
老朽化が進む

昭和45年頃からの人口増に合わせて、公共施設等の整備をしてきたため、多くの施設が更新時期を迎えており、老朽化対策が大きな課題となっています。

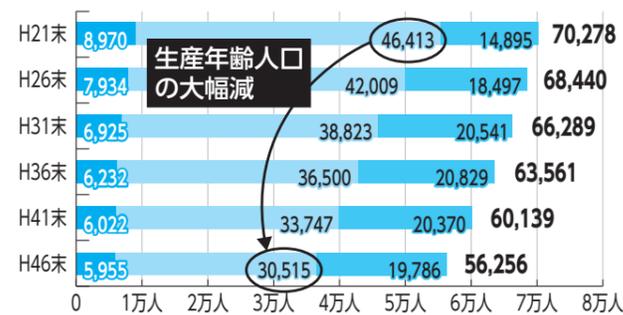
大きな負担増

公共施設等総合管理計画による更新費用の試算では、現在ある全ての公共施設等を維持するためには今後の40年間で、1年あたり24.2億円の整備費用が必要と算定しています。⑦ページでもお示したとおり、大きく減少してしまう生産年齢人口(15歳~64歳)で負担していくことは非常に困難です。

実質単年度収支(普通会計)の推移



人口の推移・推計

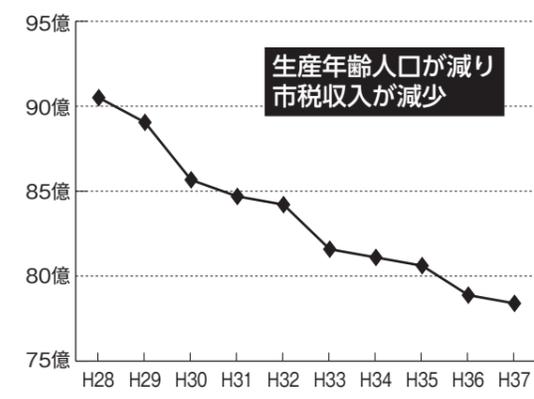


出典:北本市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

市民の皆さんが気になるところではあると思います。北本市の未来が、しかも、近い将来がどうなるのかご覧ください。

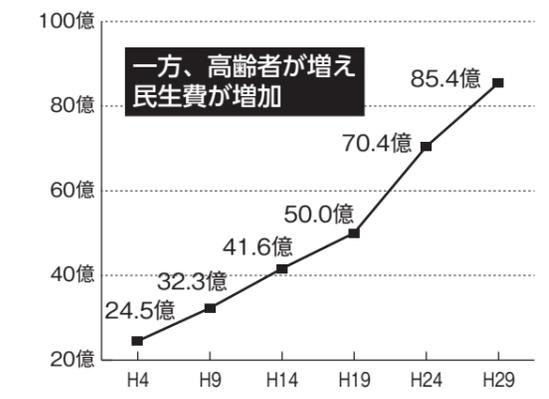


市税収入の推計



主な減少理由として、個人市民税については生産年齢人口の減少、法人市民税については法改正による税率引下げがあげられます。

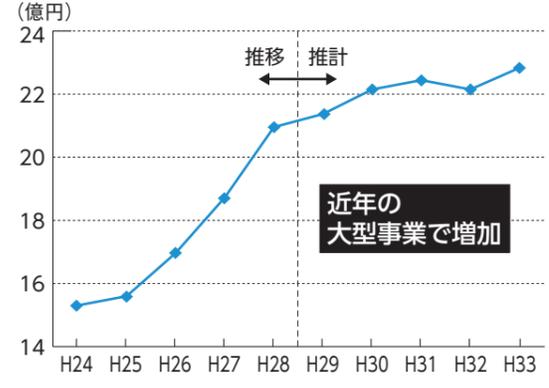
民生費(社会保障系の費用)の推移



25年間で約3.5倍に。今後も高齢者の増加等に伴い、増えていく見込みです。(H29は予算額、その他は決算額)

民生費増加の要因一例

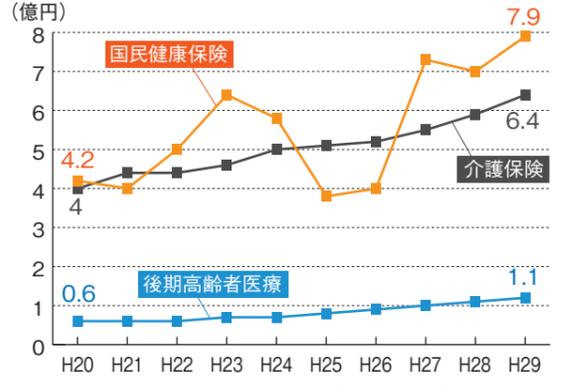
公債費(借金返済にかかる費用)の推移・推計



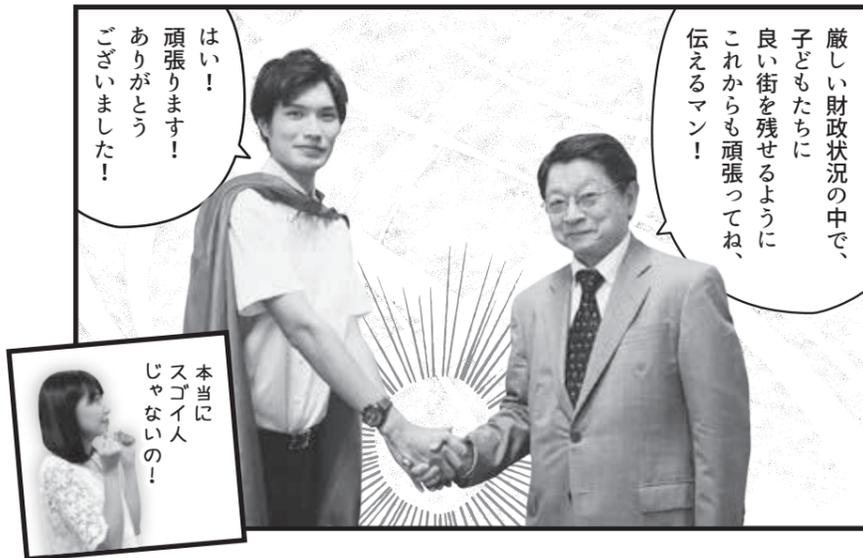
近年実施した小・中学校校舎等耐震補強および大規模改修事業、庁舎建設事業等の大型事業の影響により今後も増加していきます。

出典:北本市財政計画

医療・介護保険繰出金(市負担分)の推移



後期高齢者の人口増加に伴い、医療保険、介護保険への市負担分は、今後も増加が見込まれます。
H20合計 8.8億円
H29合計 15.5億円 **約2倍に**



皆さんからのご意見をお待ちしています!!

事務事業評価に対するご意見ありがとうございました

平成29年8月に行った事務事業評価に対し、57件のご意見をいただきました。いただいた意見は、所管部署の意見・回答とともに市ホームページで公開しています。



☎ 財政課事務管理担当 (☎594-5512)

平成30年度の各部の予算要求状況への意見募集

11月より、市ホームページにて平成30年度の各部の予算要求状況を公表し、意見募集を行います。

意見募集も行います。平成30年度はどのような考えで予算が編成されるのか？ 新規事業にはどのような事業があるのか？ 気になる人は市ホームページ(トップページ・トピックス掲載)へ！

ホームページを見ることができない人は財政課(庁舎2階)までお越しください。



☎ 財政課財政担当 (☎594-5512)

人口減少時代における自治体運営のあり方

元総務大臣、早稲田大学教授
片山善博さんにお話を伺ってきました

バランスの求められる 難しい時代

どの自治体にも言えることですが、今後は目先のことでなく、未来の人口規模、街のあり方をしっかりと見据え、過大投資を行わないことが重要です。ただし、縮小だけではなく、地域に合った、人口増加、活力向上を図る事業も必要で、両方のバランスが求められる、非常に難しい時代となっています。

北本市は比較的小さな市で、行政と市民が身近な関係であるという特性を活かし、市にとって本当に必要な事業は何か、市民と一緒に考えていく必要があります。そこで重要となるのは、情報

税を通じた意思決定を

また、今後この事業が必要であるかという意思決定を、税制度を通して行っていくべきです。税負担が変わらないのであれば、なんでもかんでもやれということになってしまいます。この事業を行う、続けるので

の共有と、議会のあり方です。多くの自治体で矛盾が生じている

厳しい状況にあるということ、市民と正確に共有したうえで、街のあり方を考えていかなければなりません。しかし、ほとんどの自治体が、財政状況を正確に分かりやすく伝える努力を行っていません。

財政状況が厳しいということ、健全さをアピールする、その一方で公共施設の縮減を求めるといった矛盾が多額の自治体で起きています。それでは将来を見据えた自治体運営を行っていくことはできません。その意味で、北本市の財政状

であれば、いくら増税します。この事業を取りやめれば、いくら減税しますといった議論の中で、本当に必要な事業が残っています。そこそが地方自治の本質であり、そういった議論のもとで、自治体運営を行っていく街に、全国に先駆けて、北本市がなることを期待しています。



財政状況を伝える取り組みに賛同いただき、平成29年9月に早稲田大学での対談が実現しました。

況を分かりやすく伝える取り組みは、全国的にも非常に稀な取り組みで評価できます。

議会が本来あるべき姿へ

二点目は議会のあり方です。情報の共有という基盤のうえで、市民が何を必要としているのか、情報を集約し、事業を構築し、意思決定を行うのは議会の仕事です。

多くの自治体で、役所側がその全ての役を担い、議会は追認機関となってしまっています。

事業や、街のあり方を決定し、その責任を持つという議会本来の役割を果たしていく必要があります。



片山善博 Profile

元総務大臣、早稲田大学教授
1951年岡山市生まれ。74年東京大学法学部卒業、自治省に入省。鳥取県総務部長、自治省固定資産税課長などを経て、99年鳥取県知事(2期)。07年から慶應義塾大学教授。10年9月から11年9月まで総務大臣を経て、17年から早稲田大学公共経営大学院教授。

将来を見据えた 市内経済活性化を

人口減少による市税収入の減少、高齢化による社会保障費の増大、市の成長期に整備された保育所・学童保育室・公民館・道路等の老朽化に対応する改築・改修など公共事業費の増大で、市の財政は今後非常に厳しい状況が予想されます。

中でも危険面・衛生面は、優先的に事業を行っていかなくてはなりませんし、将来を見据え、財政

健全化、行政改革をより一層進めつつ、施設の再配置など、不人気政策でも目を背けることなく責任ある市政運営に取り組んでまいります。

また、市の活力を向上する事業、市外から市内にお金を落としてもらおう事業を行っていく必要があります。北本駅東口のホテル誘致、野外活動センターでの宿泊可能なバンガローの設置、観光バスツアーの実施などはその一環です。

片山教授にご評価いただいたとおり、今後も厳しい財政状況をしっかりと伝え、将来に向けて今やるべきことを着実に進めていきます。



北本市長
現王園孝昭